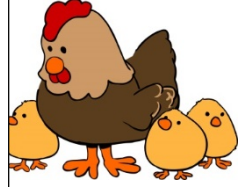




九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
発行責任者 佐川愛子
✉ nara9jyonokai@gmail.com
☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>
4号 2017年2月12日発行

安倍政権は、過去3度も廃案となった「共謀罪」を「テロ等組織犯罪準備罪」と名前を変えて国会に提出しようとしています。既に日本にはテロに関連する行為を処罰する法律があります。「共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）」を創設することは、会話を盗聴をしたり 密告したりする監視社会に繋がり、秘密保護法・安保法制＝戦争法をはじめ安倍政権による「戦争する国」作りをさらに進めるためであり、現代版「治安維持法」というべきものです。敗戦前の治安維持法も普通の人には適用しないとしていましたが普通の人を逮捕し死刑までした悪法でした。九条の会奈良県ネットワークでは「共謀罪（テロ準備罪）」法案の国会提出に反対する要請署名を行います。



橿原九条の会が成人式でシール投票を行いました

2017年1月10日、橿原市成人式が橿原文化会館で開催されました。昨日の雨もやみ、おだやかなお天気での成人式となりました。橿原市9条の会恒例のシール投票を会場前で行いました。「南スーダン派兵へ賛成か反対」のシール投票です。着飾った新成人の中での投票で、なかなか投票に応じてくれませんでした。31人に投票していただきました。「反対、関心がない、派兵は仕方ない」など真面目に投票されていました。なかでも、「自衛隊に入隊予定だけれど反対」という成人の投票に心うたれました。今年の成人式は騒ぐ者もなく、良い雰囲気の中で行われました。女性の投票が少なかったのが今年の特徴でした。結果は賛成 6 反対 22 わからない 3 でした。



奈良広陵九条の会は、日本国憲法施行70年の節目の年となる今年、初めての「19の日宣伝」を1月19日（木）午後3時半から町内の大型商業施設エコー真美2階通路で行いました。寒い中、はじめて参加の人もあり、13人が参加しました。

「憲法施行70年、今年こそ憲法が生かされる平和な年にしましょう」「戦争法廃止、立憲主義の回復を」「自衛隊員が殺し殺される危険のある南スーダンから自衛隊は撤退を」「野党と市民の共同で安倍政権の強権・暴走政治をやめさせましょう」などスーパーメガホンで宣伝しながら元気よくビラを配布しました。また「南スーダンからの自衛隊の撤退を求める請願署名」への協力を訴えました。約40分の短い時間でしたがビラの受け取りは110枚、署名に応じたくれた人が7人ありました。

平城ニュータウン九条の会では、予定された9日が雨だったので19日に署名活動（核廃絶署名、オスプレイ配置反対署名）を行いました。「誰の子供もころさせない」の横断幕を持つスタンディングアピール、「憲法カフェ」のチラシ配布、秘密保護法の小冊子配布をボブディランの「風に吹かれて」の曲を流しながら行いました。赤紙を配っていた時、自分の子供に「お父さんがこんな紙切れで戦争に行く事になったら困るなあ？」そして連れのお母さんに「あなたも赤紙もらっといで」と駅へ行かれました。「何をされているんですか？」と尋ねられたご婦人に「平城ニュータウン九条の会です。何としても憲法九条を守っていこうと活動しています」と憲法カフェのチラシをお渡ししながら話をすると「絶対九条を守らないとだめです。明日は祖父の命日なので奈良から買い物に来たのですが、皆さんにお会いできてよかった。祖父が引き合わせてくれたのかもかもしれません」と祖父や母から聞いた戦時中の話をたくさんされました。



香芝九条の会看板作成にいたる取組

JR 香芝駅のプラットフォームから見るとところにある大きな看板。「憲法・平和を守ろう！」との文字が書かれています。香芝九条の会の田福さんのお話によると香芝では、近鉄関屋、JR五位堂に続いて3番目の看板だそうです。「みなさんに見える形として考えていきたい」と、その都度300人を超える会員のカンパで作られてきたとのこと。「憲法九条を守り戦争をしない」という強い決意と一人でも多くの人々に広げていきたいという願いが伝わってきます。今回の看板用の土地を提供された青木夫妻に経営されている「ぼちぼち」という温かみのある店でお会いしました。青木氏は「憲法九条を守り戦争をしない国として世界に貢献していく道をこれからも歩み続けられるように」と土地使用を申し出られ、青木氏の奥さんは完成した看板を見て「希望に燃えていた学生時代を思い出して感動した」と感想を述べられました。田福さんは、この看板を作る事でさらに香芝九条の会が結束したと述べておられます。

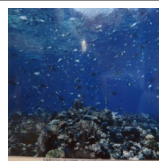
河合九条の会主催「河合町・光徳寺僧侶藤満智徳さん (念仏者九条の会) 講演会」

1月22日(日)午後2時からまほろば小ホールで行いました。当日は雨模様の寒い日でしたが、53名の参加者がありました。藤満さんは会員数1260名の「念仏者九条の会」の会員で、光徳寺は西本願寺系のお寺です。本願寺教団は、かつて親鸞聖人の教えにないことを「教え」として、戦争を賛美し推進した歴史をもっています。アジアへの侵略戦争を「聖戦」と呼んで門徒を戦争に駆り立てたことを痛恨の過去として、その過ちを再び繰り返さないためにも、平和実現のための活動に尽力しておられます。戦後60年、「教団の戦争責任を明らかにする」取り組み、「千鳥ヶ淵墓苑での全戦没者追悼法要、各教区や組での〈平和のつどい〉」の勤修、「靖国神社公式参拝反対」など、他の平和運動と連携しながら活動しておられる中で藤満さんご自身も沖縄・辺野古へ支援に行かれたことがあります。お話は、憲法九条は仏様の願いであることを基調に、様々な逸話と共に釈迦様もキリストもアッラーもその教えは同じであると話されました。講演後、参加者から謝意や仏教への質問などと共に、全国に2万ヶ所所在(とお話しの中で聴いた)浄土真宗のお寺でこのような講話をしていただいたら日本国民の平和意識が高まるので推進を要望する意見なども出て盛り上がりの中で閉会しました。



見たい聞きたいしゃべりたい「沖縄」のこと

「富雄九条の会、とみなん九条の会、西大寺九条の会、小さい九条の会」主催による「沖縄の写真展、お話としゃべり場、ドキュメンタリー映画上映」が1月28日から30日までチョウタリで行われ130名近くが参加。8500枚のチラシを地域や駅で配り呼びかけ、地元だけでなく、吉野、五条、大阪、遠くは群馬からの参加もありました。29日の「お話としゃべり場」では、今岡良子大阪大学准教授から「沖縄の歴史と日本の歴史との関係で沖縄はどうだったか」というお話でした。感想として「沖縄がなぜ今こうなっているのかが良くわかった」「米軍がどういう事をしてきたのかわかった」など寄せられました。映画「いのちの森 高江」「高江一森が泣いている」では、自然の宝庫でヤンバルクイナの生息地であるやんばるの森が破壊され、オスプレイの発着場所になるヘリパッド建設が住民の反対を押し切って工事が国の権力で押し進められることが見ていてよくわかる映像でした。代表の木村さんは「沖縄で何が行われているか知ってもらい、それぞれで考えて欲しい」と述べられました。「本土の人達は、あまりにも沖縄の現状を知らされていません。自衛隊も機動隊も、警察も私達住民を守ってはくれないということを記録映画を見て強く思いました」「奈良県から署名をしたり、人と繋がって、できることで応援しています」「会場のチョウタリイさんのご支援、各九条の会のメンバーの協力、それぞれができる事を考え行い、そのことが素晴らしい集会になった」との感想が述べられました。



平城ニュータウン九条の会主催の「憲法カフェ」開催

2017年1月29日(日)午後1:30より宮尾弁護士をお迎えして、右京ふれあい会館にて安全保障問題を中心にした設問形式の「憲法カフェ」が行われました。30名を超える参加者が質問や指摘等々意見を交わしました。憲法、国連憲章、日米地位協定、安保法、等の優先順位について考えさせられました。又、「攻められてもいないのに戦争するのは止めよう」、「外国に行っても戦争するのは止めよう」と結論付けられました。

設問の例は下記のものであります。

今回の安保法は、以下のどれに違反していますか？

- ① 憲法9条1項
- ② 国連憲章
- ③ 両方

憲法9条1項は戦争を禁止している

- ① YES
- ② NO

自衛隊は国際法上の「個別的自衛権」を行使できるか？

- ① 出来る
- ② 出来ない



第12回憲法講座を開催

主催「九条の会」奈良 九条の会奈良県ネットワーク

日時 5月4日(木)午後1時開場、1時半開演

会場 奈良県文化会館小ホール

講師 清水雅彦日本体育大学教授憲法学、九条の会世話人